

2028 年度 4 月期入学修士課程入学者選抜試験(2027 年 8 月実施)以降に係る試験方法の変更について

2027 年 8 月に実施する「2028 年度修士課程入学者選抜試験」においては、2026 年 8 月に実施した同試験から変更点があります。詳細については、「2028 年度 4 月期入学 修士課程学生募集要項【2027 年 4 月に掲載予定】」を必ず確認してください。

本試験は化学理工学専攻に属する分野（研究室）を 3 群（創成化学群、先端化学群、化学プロセス工学群）に分け、群共通の時間割で実施します。群によって試験科目が異なり、群をまたいで分野（研究室）を志望することはできません。

● 変更前

V. 入学試験詳細

(略)

・化学プロセス工学群

(略)

[専門科目 2] 配点 300 点

化学工学量論（熱力学含む）、化学工学数学、反応工学（2 題）、プロセスシステム工学の 5 題の中から 3 題選択。ただし、化学工学数学の出題範囲は、微分積分学、線形代数学、常微分方程式、ベクトル解析、複素解析、偏微分方程式とする。

● 変更後

[専門科目 2] 配点 300 点

化学工学量論（熱力学含む）、数学、反応工学（2 題）、プロセスシステム工学の 5 題の中から 3 題選択。ただし、数学の出題範囲は、微分積分学、線形代数学、常微分方程式、ベクトル解析、複素解析、偏微分方程式とする。

【重要な変更点】

化学プロセス工学群：専門科目2の選択科目であった「化学工学数学」の出題範囲から「複素解析」を削除し、名称を「数学」に変更します。